

令和6年度 重点目標達成のためのアクションプラン

氷見市立朝日丘小学校

<本年度の重点目標>

自他を大切にし、主体的に学び、高め合う子供の育成

前年度の課題	・困っている友達に、自然に声をかけたり助けたりできる子供がいる。 ・相手の気持ちを考えず、攻撃的な言動をとり、トラブルになる子供がいる。 ・自己肯定感、集団への所属感の高まりに難しさをもっている子供がいる。 ・授業において、「分かった」「できた」と実感できている子供が多い。 ・学校の休み時間でも、外へ出ず、屋内で過ごす子供が多い。 ・進んで運動する子供と、そうではない子供に分かれている。		
具体的な達成目標 (数値目標)	人の気持ちが分かる子供の育成 ・相手の気持ちを考えた態度や言葉遣い（1学期：挨拶、2学期：思いやり、3学期：感謝）をすることができたと評価する児童の割合がそれぞれ80%以上になる。	よく考えて、進んで学ぼうとする子供の育成 ・「もっと知りたい」「もっと分かりたい」「もっとやりたい」と思った授業があったと評価する児童が80%以上になる。	自らをきたえようとする子供の育成 ・休み時間に外で遊んだり、体を動かしたりする児童の割合が85%以上になる。
行動Ⅰ (方策)	<方策1> * 運営委員会を中心に各学期（1学期：6月、2学期：11月、3学期：2月）に重点目標を設け、1学期は挨拶、2学期は親切・思いやり、3学期は感謝を重点的に取り組めるようにする。その際、クラスごとに、「宣言」し「振り返り」を行い、意識が継続されるようにする。 <方策2> * 運動会や学習発表会等の行事では、全校で、児童同士で認め合ったり、保護者か児童のよさを認めたりする取組を行う。また、各クラスで日常的に行われている人間関係を育む取組の情報交換を進める。	<方策1> * 児童が見通しをもち、問題意識や意欲を高めるための工夫をする。 <方策2> * 「もっと知りたい」「もっと分かりたい」「もっとやりたい」という学習への広がりや深まりが生まれるように、振り返りのタイミングを工夫したり、どのような視点で振り返るかを明確にしたりする。	<方策1> * 外へ出たり、体を動かしたりする意欲がもてるような活動を工夫する。 * 委員会活動や保健だより等を使って、運動遊びを紹介したり、運動する場を設けたり、大会等を企画したりする。 <方策2> * 外へ出ることで、眠りのホルモンが出たり、骨の成長に欠かせないビタミンDがつくられたり、視力低下を防いだりするといった、体へのよい影響がたくさんあることを、授業や委員会活動を通して伝えることで、外遊びの意欲を高める。